


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森第二高等養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	二高養祭		
	単元(題材)の目標	(1) 諸活動をとおして物事に主体的、積極的に取り組む力を育む。 (2) 自分の役割を理解し、友達と協力しながら活動する態度を養う。 (3) 係活動をとおして、生徒の仕事に対する意欲と責任感の向上を図る。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1～3 年 91 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	二高養祭では、生徒は専門教科や運営等の各グループに分かれ、学年縦割りで活動している。グループごとに3年生を中心に話し合い活動をし、役割分担をしながら準備活動を進めていく。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、電子黒板、Apple TV など		
	使用したアプリケーションの名称	Google Meet		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	例年はグループごとに1部屋に参集しての話し合いをしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、学年が混在した形で参集しての話し合いが難しくなったため。		
活用の状況と支援	各グループで店名、リーダー、目標、活動内容、役割分担を話し合う学習を、学年が混在しない形で行うために、3つの学年をGoogle Meet でつないで話し合い活動を行った。Google Meet 上では普段の会話に比べてタイムラグがあり、活発な意見交換が阻害されることが多いため、話し合う内容について各学年それぞれで意見をまとめ、Google Meet 上で発表し合う形をとった。			